



学校だより

# 大綱

横浜市立大綱小学校

TEL 542-0027 FAX 541-3646

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/otsuna/>

令和8年 6月号

## まち

副校長 高崎 智志

今年度、大綱小学校は、創立126年、開校153年を迎えます。先日(4月28日)、創立記念式がテレビ放送で行われました。今年度の講師は、大倉山明和会の会長、秋本さんでした。秋本さんご自身が、大綱小学校の卒業生ということで、卒業アルバムをご持参いただき、当時のお話とともに、集合写真や校舎の写真を紹介してくださいました。

大倉山のまちは、今では、新幹線や大きな幹線道路が近くを通り、多くの人が住み、商店街にはたくさんのお店が並ぶ大きな「まち」になっています。しかし、秋本さんが子どものころは、今とはかなり様子が違ったそうです。

- 大綱小学校は、今の区役所前付近にあった
- 秋本さん在学习中に、子どもの数が増えていった
- 平地には畑が広がっていた
- 鶴見川は「暴れ川」と呼ばれるほど、氾濫の多い川だった …

秋本さんのお話を聞いて、子どもたちは、昔の大倉山の「まち」の様子について、想像を膨らませていました。「僕の家は、昔、大綱小学校だったよ。」と、嬉しそうに教えてくれる子もいました。

先週から、1年生が「まちたんけん」に出かけています。生活科の学習の一環です。これから、2年生も、生活科の学習で、「まち」を巡ります。昨年度は、5年生が総合的な学習の時間で、大倉山の「まち」について調べて、発表していました。大綱小学校では、毎年、「まち」とのつながりを大切にしています。

- どうして、畑や田んぼがたくさんあったのか
- 細い路地が多い、どうしてだろう
- 学校が引っ越ししたのはどうして
- 大倉山のまちは、本当に平らな土地なのかな …

今回の創立記念式でのお話から想像したことをもとに、様々な「問い」が生まれ、大倉山の「まち」についての学習が深まるといいなと思っています。そして、大倉山の「まち」を知り、「まち」を支える人たちとの出会いを通して、「まち」への愛着が育まれることを願っています。

さて、今年は、どんな「問い」が生まれ、どんな学びに発展していくのでしょうか。楽しみです。

### ◆◆◆ お問い合わせ ◆◆◆

学校にお越しの際は、必ず「保護者証」(防犯)をご提示ください。お忘れの場合は、職員室までお声かけください。(「保護者証」をお貸しいたします)「保護者証」を紛失した場合は、再発行いたしますので、副校長までご連絡ください。子どもたちの安全を守るために、ご協力をお願いいたします。

